

信州大学医学部附属病院 小児科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

「造血幹細胞移植後の急性消化管移植片対宿主病における発症予測因子探索のための後方視的調査」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	造血幹細胞移植後の急性消化管移植片対宿主病における発症予測因子探索のための後方視的調査
所属(診療科等)	小児科
研究責任者(職名)	倉沢伸吾(助教)
研究実施期間	医学部長による許可日～2029年3月31日
研究の意義、目的	同種造血幹細胞移植後の急性消化管移植片対宿主病の発症予測因子を明らかにすることを目的としています。急性消化管移植片対宿主病の治療に貢献すると考えられます。
対象となる方	2010年1月1日から2025年12月31日の期間に当院小児科で造血細胞移植を受け、移植後に消化管症状を呈し消化管内視鏡検査が施行された方
利用する診療記録	診断名、年齢、性別、移植関連情報、血液検査結果、内視鏡所見、病理組織学的所見、治療内容、転帰など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、急性消化管移植片対宿主病と診断された群と診断されなかった群の2群間で背景因子および臨床所見を比較することにより、急性消化管移植片対宿主病発症に関連する予測因子を検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名):水谷駿介(信州大学医学部附属病院小児科・医員) 電話:0263-37-2642

既存の診療記録および検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報を利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。